



MS213-14001/2 19インチ・鍛造アルミホイール 取付・取扱要領書

この度はTRD 19インチ・鍛造アルミホイールをお買い上げいただきありがとうございます。

本書には上記商品の注意事項と要領・取扱いについて記載してあります。

取付け前に必ずお読みいただき、正しい取付け、取扱いを実施してください。

なお本書は必ずお客様にお渡しください。

■品番・適合

品番	MS213-14001		アルミホイール (19インチ 9.0J)	
	MS213-14002		アルミホイール (19インチ 10.0J)	
適合車種	型式	グレード	年式	備考
GR スープラ	DB42/DB22	RZ/SZ-R	'19.05~	除くSZグレード (DB82)

■構成部品

	部品名	品番	数量	備考
①	ディスクホイール	MS213-14001	1	19×9.0J IN32 5H-PCD112 (FR用)
		MS213-14002		19×10.0J IN40 5H-PCD112 (RR用)
②	ホイールセンターキャップ	MS215-00001	1	TRDロゴ
③	取付・取扱要領書 (本書)		1	

※ 開封時に必ず構成部品が揃っていること、キズや損傷が無いことをご確認ください。

■取扱い上の注意

- ⚠ 警告 (1) 本品を適合車種以外には使用しないでください。破損や故障により重大な事故を招く恐れがあります。
- ⚠ 警告 (2) 車両への取付作業は平坦な場所でエンジンを切り、サイドブレーキを掛けて行なってください。不安定な場所での作業は重大な事故を招く恐れがあります。
- ⚠ 警告 (3) 車両ロックボルトを良く点検し、錆、劣化のある場合は新品と交換してください。そのまま使用した場合、破損や緩みにより重大な事故を招く恐れがあります。
- ⚠ 警告 (4) 車両への取付の際は指定トルクに従って確実に締付けてください。取付時に締付トルク不足があると徐々にゆるみが発生しホイール破損や脱落等、重大な事故につながる恐れがあります。
- ⚠ 警告 (5) 車両へ取付け後、直進状態及びステアリングを一杯に切った状態でタイヤがボディーやブレーキホース等に干渉していないことを確認してください。干渉している場合は購入の販売店へ連絡してください。そのまま使用しますと破損や故障の原因となり、重大な事故を招く恐れがあります。
- ⚠ 警告 (6) 急発進、急制動、急旋回等の無理な走行や運転はお止めください。本品に過剰な負担が掛かり、損傷、故障の原因となるばかりでなく、重大な事故を招く恐れがあります。
- ⚠ 警告 (7) 本品装着後に事故や衝突等で、ホイールやサスペンション等に強い衝撃を受けた場合は、変形や破損を生じている場合がありますのでご使用を中止し、トヨタ販売店にて点検を受けてください。そのまま使用になりますと、重大な事故や故障の原因となる場合があります。
- ⚠ 警告 (8) 本品への加工、改造は絶対に行なわないでください。重大な事故や故障のを招く恐れがあります。
- ⚠ 警告 (9) 走行中に異常な振動や異音を感じたら、直ちに安全な場所に停止してトヨタ販売店にご連絡してください。そのまま走行を続けると、重大な事故や故障を招く恐れがあります。
- ⚠ 注意 (1) 本品の交換・取付け作業は必ずトヨタ販売店で行なってください。その他の場所での交換、取付け作業は商品の破損や重大な事故を招く恐れがあります。
- ⚠ 注意 (2) 本品到着後、直ぐに本体の損傷、付属品が全て揃っている事を確認してください。タイヤの組付け作業時や車両取付け後に発覚したキズ・変形等のクレームには原則、応じられません。
- ⚠ 注意 (3) 他社製品による改造箇所がある場合、本品本来の性能を十分に発揮出来ない場合があります。
- ⚠ 注意 (4) 本品の取付け・交換の際は、必ず当該車両の修理書(トヨタ自動車(株)発行)に従い、本書の注意事項を守って作業を行ってください。誤った取付けは商品の破損や重大な事故・故障に繋がる場合があります。
- ⚠ 注意 (5) 装着直後はボルトが緩む場合があります、100Km程度の走行後に締付トルクの確認を実施してください。
- ⚠ 注意 (6) 本品は保安基準適合商品ですが、他社商品との組み合わせによっては保安基準に適合しなくなる場合があります。
- ⚠ 注意 (7) 本商品には十分な強度・耐久性を持たせてありますが、保管・取扱い・使用条件によっては商品や車両に重大な損傷を招く恐れがあります。
- ⚠ 注意 (8) 上記事項と本書の装着手順をお守りください。組付け・取付け作業時や通常使用・走行以外に発生した外的要因が起因する車両本体、又は本品が破損した場合は、保証対象外となりますのでご注意ください。

(取付取扱要領1)

【装着前に】

1. ホイールの確認

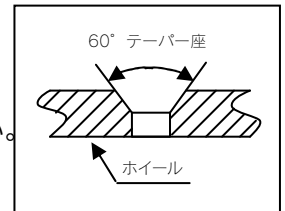
- ホイールはサイズ・穴数・P.C.D・インセット・取付け面形状・取付けナット座形等が装着する車両に適合している事を確認してください。なお、左右には同サイズ同銘柄のホイール・タイヤを装着してください。又、装着車に対しホイールの荷重値が不足している場合も装着は出来ません。
- ⚠警告 左右毎に異なるサイズ・銘柄のホイールを混用すると操縦性・安定性が失われます。

2. タイヤの確認

- 標準サイズのタイヤから、径・扁平率が異なるタイヤに変更する場合は標準タイヤのロードインデックスを下回らないようにご注意ください。
- ⚠警告 装着されるタイヤのロードインデックス及び空気圧が下回っている場合、タイヤ破損の恐れがあります。
- ホイールにタイヤを装着する場合、リム幅にあったタイヤを選択してください。
- ⚠警告 リム幅に対して極端にタイヤ幅が狭い場合、ビード落ちやホイールの破損に繋がる場合があります。
- タイヤ装着後、空気圧の確認を実施し、冷間時に自動車メーカー、タイヤメーカーの指定する空気圧に調整してください。扁平率の低いタイヤの空気圧不足は分りづらい為、日常的に点検を実施してください。
- ⚠警告 空気圧の不足はタイヤ負荷能力の低下、異常発熱等を起こし、タイヤの破損に繋がる恐れがあります。

3. ボルトの確認

- 取付けボルトは装着する車両のネジ径・ピッチを確認のうえ、必ずボルトの座の合った物を使ってください。ホイールの取付けボルト座は、テーパ座、球面座、平面座等の種類があり、本品のボルト座は60°テーパ座を採用しております。
- ⚠警告 ホイールのボルト座と異なる座形状のロックボルトは絶対に使用しないでください。形状が異なると十分な締付けが出来ず、走行中に外れる事があります。



4. エアバルブの装着

- 修理書をご確認いただき、必ず純正部品の再使用不可部品を新品に交換して組付けてください。

⚠注意

- ・必ず純正部品の再使用不可部品を新品に交換してください。
- ・エアバルブを組付ける際は、該当車両の修理書(トヨタ自動車発行)を参照してください。
- ・エアバルブを交換した際は初期化が必要となる場合があります。修理書を参照してください。

5. タイヤの組付

- タイヤの組付けの際は、必ずタイヤ潤滑剤を使用して作業してください。

⚠注意

- ・タイヤ組付けの際は、ホイールを破損しないように十分ご注意ください。

- 指定空気圧の充填はタイヤのビードがリムのビードシート周上に均等に載っている事を確認したうえで行なってください。

- ⚠警告 タイヤ組付け時の空気充填は破裂の危険を避ける為、タイヤを安全囲いの中に入れる等、安全策を講じた上で行なってください。破裂等により重大な事故を招く恐れがあります。空気充填後にタイヤとリムの勤合部、エアバルブ周辺より空気洩れが無いか確認してください。洩れた状態で走行を続けるとタイヤ・ホイールを損傷する等の危険があります。

- タイヤ組付け後はバランス調整を実施してください。

- ⚠警告 バランス不良は車両の振動や安定性を損ない、タイヤ偏磨耗の原因となる場合があります。

6. 車両への装着

- ハブボルトはトルクレンチを用いて指定トルクで締付けてください。

- ⚠警告 締付けの不足・過多は座面の変形、緩みや外れの原因となります。確実な締付けを実施してください。

インパクトレンチは絶対に使用しないでください。

車両ハブとホイールの上にスペーサー等を絶対に入れないでください。

ホイールの正常な機能を妨げると共に、ハブボルトの破損等の危険があります。

指定トルク
140N・m

(取付取扱要領2)

【装着後に】

1. 装着後の確認

■車両装着後、直進状態・ハンドルを左右一杯に切った状態で車体、サスペンション、ブレーキホース等に干渉していない事、タイヤが車体からはみだしていない事を確認してください。

⚠警告 車体各部との干渉はタイヤ破損、ブレーキフルード洩れ等、重大事故の危険性があります。
タイヤがはみだした状態での一般道の走行は法令で禁止されています。

2. 装着後の走行

■装着直後は、約100km走行後にハブボルトの締付けトルクの確認を実施してください。

⚠警告 走行中に異常な振動、音を感じたら安全な場所に停止し取付けボルトを確認してください。
そのまま走行を続けると破損、脱落等、重大な事故を招く危険性があります。

■舗道縁石、路面の凸凹への乗上げはホイールの変形や亀裂を生じる場合がありますのでご注意ください。

⚠危険 小さな段差でも速度が速いと受ける衝撃が大きくなる為、安全な速度に落として通過してください。
タイヤ・ホイールに変形や損傷を引起す事がありますので道路の縁石との接触・乗上げ、チャターバー(キャッツアイ)への乗上げ、凸凹路の高速走行は避けてください。衝突の回避等でやむをえず前記の状況となった際は、トヨタ販売店にてホイールの点検を受けてください。
そのままご使用になられますと、割れや亀裂の発生原因となります。

■急発進、無用な急制動、急旋回はタイヤ・ホイールの変形に繋がりますのでお止めください。

3. 日常点検及び手入れ

■ハブボルトの締付け状態、空気圧は必ず車両のご使用前に確認してください。

⚠警告 ハブボルトの緩みは脱落、空気圧不足は衝撃吸収性が低下しタイヤ・ホイールを痛める原因となります。

■海辺や雪道走行後は、柔らかい布を使い水洗いを行ない、水分は完全に拭取ってください。

⚠注意 塩分や泥が付着したまま放置しますと表面の光沢にムラやシミが発生する場合があります。
市販のホイールクリーナーはホイール、キャップ等を侵す事がありますので、説明書を良く読んでからご使用してください。

⚠注意 スポンジやコンパウンド、高速洗車機の使用はホイールを傷付ける事になる為、お止めください。

【その他の注意事項】

1. センターキャップの取付け

■センターキャップは叩き入れないで、手で押込んでください。衝撃を加えると破損の原因となります。
センターキャップは同梱のホイールセンターキャップをご使用ください。

2. 修理について

■ホイール修正業者及びご自身による歪みの修理や塗色変更等の加工は絶対に行なわないでください。

⚠警告 修理、加工を施しますと強度が低下し空気洩れや破損に結び付き、重大事故となる場合があります。

3. 保管について

■タイヤ・ホイールの保管は洗浄後に十分乾燥させ、直射日光、雨、油分が付着せず、高温多湿の場所を避けて保管してください。

空気圧を使用時の半分に下げ、重ねて置く場合はタイヤ同士が直接触れないように干渉材をはさんで保管してください。

■長期間の保管後に再使用する際には、トヨタ販売店で各部の点検を実施してご使用ください。

⚠注意 タイヤとホイール意匠面が接触した状態で保管しますと、変色する場合があります為、ご注意下さい。

4. 補給品について (単品交換時)

補給品 (新品) アルミホイールの意匠面は、お使いのホイールを一部交換し比較した場合、ツヤ感や色味などに差異が生じる場合がございます。ご承知おきください。